

9

## 大阪市土木部の事業……(二)

### 橋梁之部

大阪都市計畫事業街路新設擴張に伴ひ、その附屬橋梁として新設又は改築せらるべきものは約90橋あり、その中で既に竣工したものは33橋、現在工事中のものは7橋である。此の他に前記橋梁外で、市内の主要道路に附屬する在來橋82橋の改築事業があるが、これは工事中止と決した一橋以外全部竣工した、是等諸橋に就ても亦既に數次紹介するところがあ

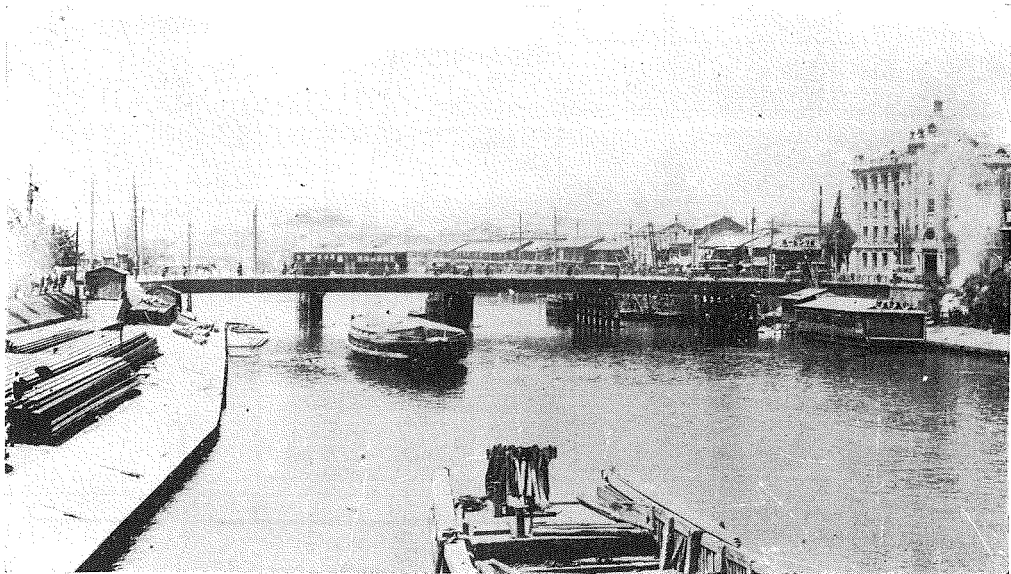
つたが、以下更に二三を掲げることにする。

#### 櫻宮橋（第九圖）

都市計畫事業路線天滿菰生線に附屬し、淀川を横斷するものである。

西詰は新川崎町で造幣局及泉布觀所在の場所、東詰は東野田一丁目で、本橋の接付徑間は淀川公園の上に架して居る。(詳細は工事畫報第七卷第一號參照)

10



大江橋 (第十圖, 第十一圖)

都市計畫事業路線御堂筋線附屬橋梁として堂島川に架し、中之島を挟んで、姉妹橋たる同型式の淀屋橋に接続するものである。

本橋北詰は堂島濱通一丁目、南詰は中之島一、二丁目である。(第10圖は舊橋、第11圖は新橋梁である)

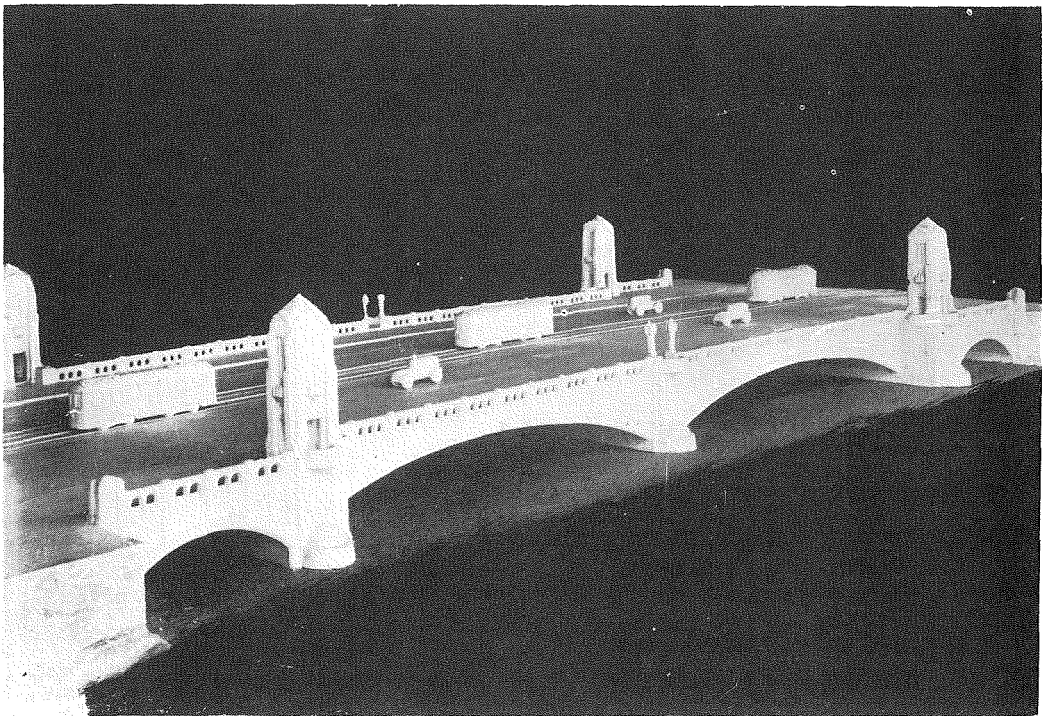
改築橋梁概要

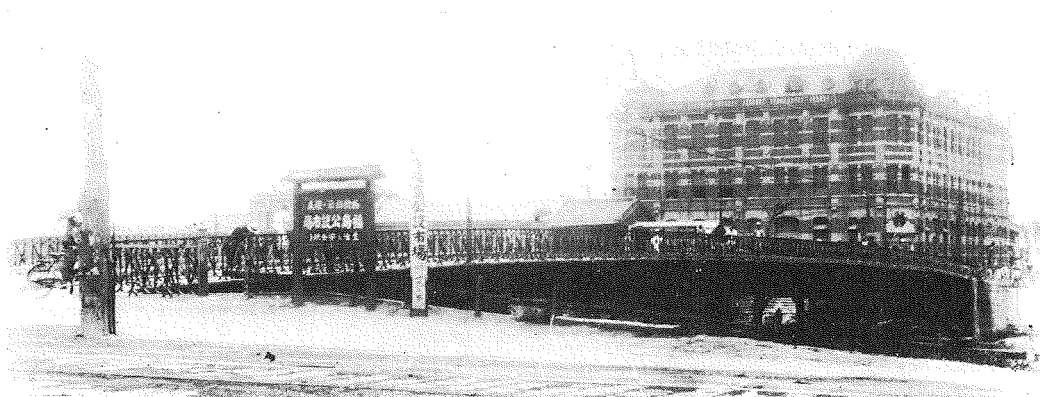
型式 鐵筋コンクリート拱、四徑間

幅員 主徑間 36.5米

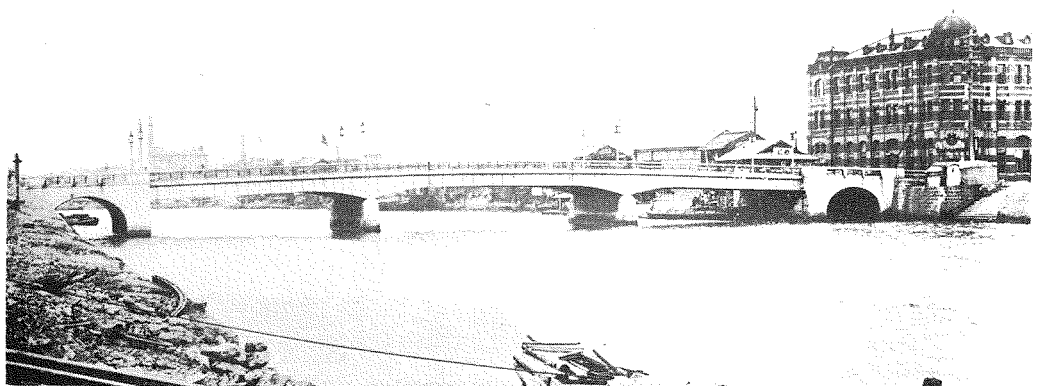
側徑間	44米	
橋長	81.5米	
橋面軌道	5.69米	ソリデット舗装
高速車道	6.255米	} 木塊舗装
緩速車道	4.55米	
歩道	4.6米	混凝土タイル

本橋の意匠設計は曩に懸賞募集に依つて得たものを骨子として仕上げたものである。淀屋橋と共に現に工事中であつて、昭和八年一月頃竣工の豫定である。





12



13

玉江橋(第十二圖、第十三圖)

都市計畫事業路線玉江橋線に附屬し、堂島川に架かるもので、北詰は堂島濱通三、四丁目、南詰は玉江町一丁目及常安町である。

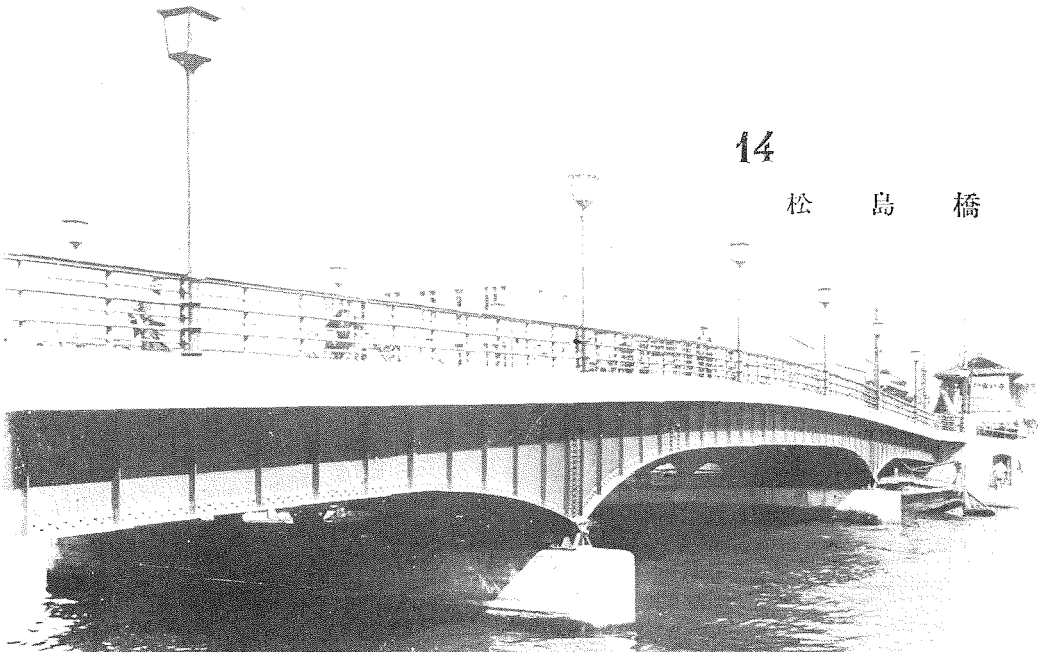
改築橋梁概要

型式 主徑間ケルバー式鋼鈹桁、三徑間  
側徑間鐵筋コンクリート拱、二徑間

幅員 主徑間 36尺  
側徑間 47尺  
橋長 254尺  
橋面 歩道アスファルト・ブロック  
車道 木塊  
無軌道  
竣工 昭和四年九月

14

松島橋



松島橋

松島橋は改築八十二橋の一で、木津川に架かるものである。東詰は新町南通五丁目、西詰は松島町一丁目である。

改築橋梁概要

型式 ゲルバー式鋼鉄桁、三徑間

幅員 36尺3寸

橋長 229尺

橋面 歩道 アスファルト・ブロック

車道 木塊

竣工 昭和五年八月

鉾流橋(第十五圖)

松島橋と同じく改築82橋中の一である。堂島川に架し、北詰は老松町、南詰は中之島一丁目である。

改築橋梁概要

型式 ゲルバー式鋼鉄桁、三徑間

幅員 36尺3寸

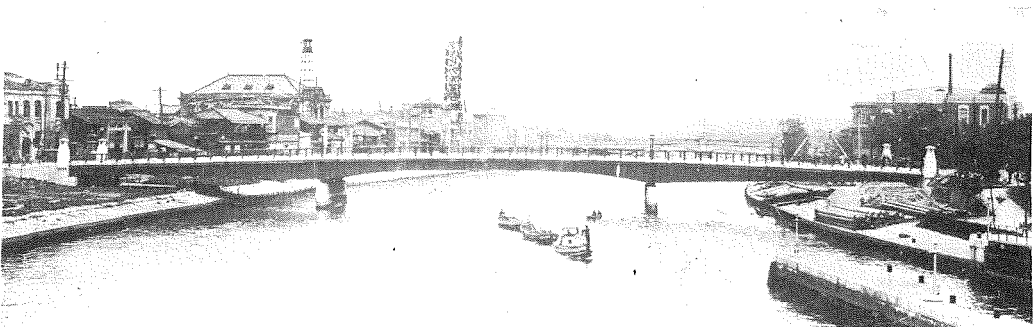
橋長 318尺

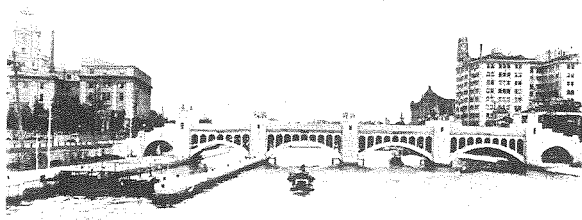
橋面 歩道 アスファルト・ブロック

車道 木塊

竣工 昭和4年10月

15





# 16

## 可動堰の部

往時より水都と稱へられて居る大阪市には大小の河川四通して古來舟楫に便する事少ではなかつた。然るに、近世に至つて大川筋の水位低下するとともに、大小枝川の流水量は著るしく減じ、加へて産業の發達、人口の増加の結果は汚水排出の量を次第に増加し、これが枝川内に停滯して、一に衛生、美觀上、他に交通上寒心すべき現象を招來した。之が改善のためには、大川筋に適當の施設を爲しその流水を枝川に通じて濁水を除去し、河水の疏通を完全ならしめなければならぬ。斯くて立案せられたものが堂島川他四個所の可動堰工事である。稱して大阪市枝川導水工事といふ。

本市可動堰は水上交通頻繁の市中河川に在るが爲に、開閉容易、外觀の美麗なるべきことが必要である。故に五堰共に ティンター・ゲート式を採り、外觀は鐵骨コンクリート拱橋として、堰扉が開放せられて居る際は之が橋床下に藏置せられ

て一の歩道橋であるが如く見える様に設計せられて居る。各堰の概要別表の通りである。

### 堂島川可動堰

(大江橋上流に施設す 昭和四年三月竣工。第16圖参照)

ティンター・ゲート徑間50尺三枚、徑間40尺一枚の徑間の扉は開門下流扉となるものにして、此處に有効延長200尺の開門を附設し、堰の閉扉中と雖も交通に支障なからしむることとした。橋長200尺、橋面幅員31尺である。

### 土佐堀川可動堰

(肥後橋上流に施設す、昭和六年三月竣工。第十七圖参照)

ティンター・ゲート徑間50尺二枚、スライド・ゲイト徑間21尺二箇。

橋長170尺、橋面幅員35尺。

### 道頓堀川可動堰

(大黒橋上流、昭和六年九月竣工豫定)

ティンター・ゲイト徑間50尺一枚、21尺二枚。大黒橋に併置し、開門(有効長150尺)を附設する。橋長116尺、橋面幅員31尺。

### 長堀川可動堰

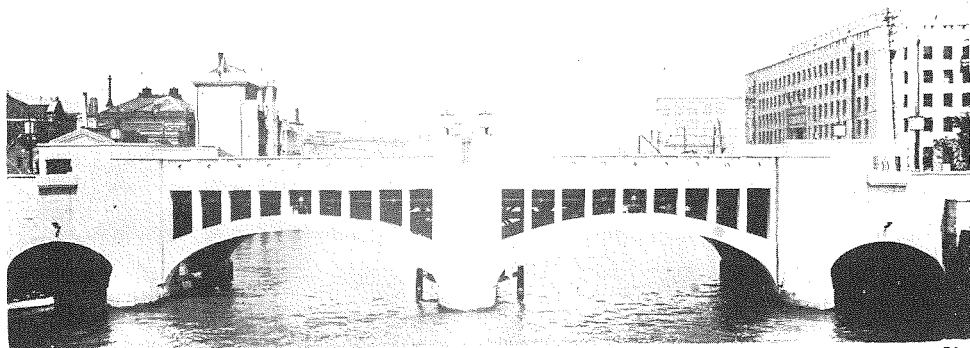
(安純橋下流)

ティンター・ゲート徑間50尺一枚、スライド・ゲート徑間18尺二箇。スライド・ゲートは兩側徑間に各一箇宛を設ける。

### 江戸堀川可動堰

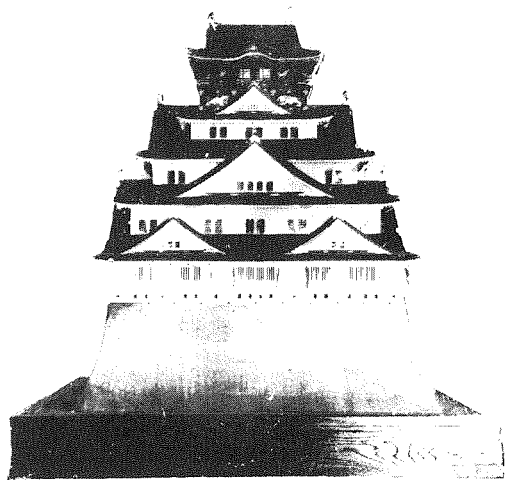
(江戸橋下流)

ティンター・ゲート徑間40尺一枚。



# 17

## 大禮記念事業



大阪城本丸の公園施設（第十八圖）

城内大手門を入り天守閣に至る間の歩道を幅員四間乃至七間に整へ、その兩側に櫻樹を植え、芝生及び植込みを整備した。特に紀州御殿及び第四師團司令部前の廣場は、在來の植樹帯を整理して大芝生帯を設けたのである。

紀州御殿の内庭は從來平庭であつたが、此處に

昭和の大典を記念せんがため、大阪市民は擧つて資財を投じ、大阪城公園施設、天主閣の再建、櫻の宮公園の擴張等を行ふこととなつた。

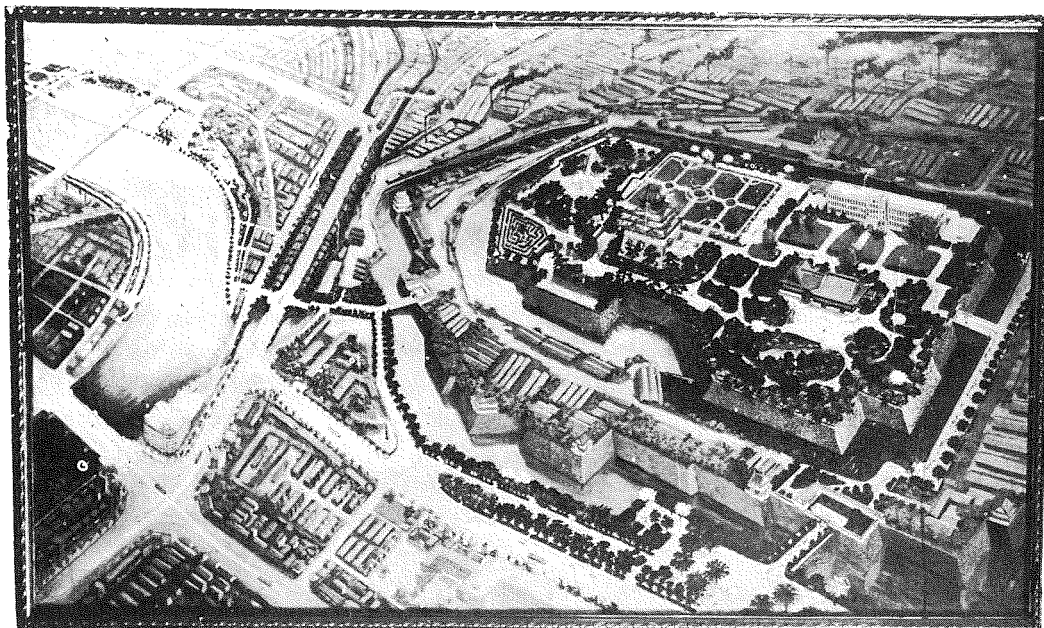
いづれも昭和4、5年の交に起工せられ、着々其の工を竣へんとしつつあるものであつて、完成の上は海内有數の都市中央公園として二百萬市民に酬ゆるところあらんとして居る。

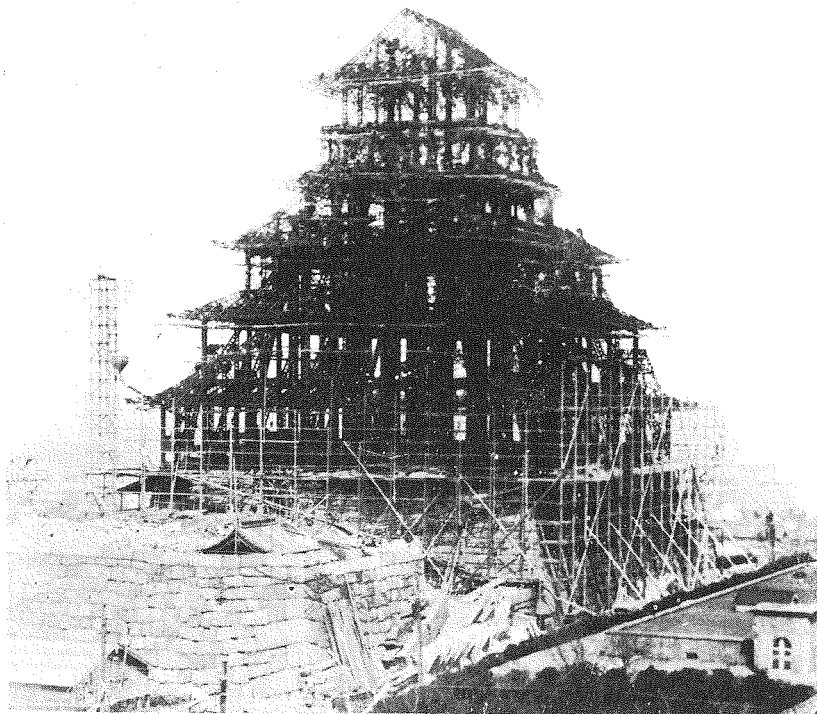
是等諸事業の中、大阪城公園施設及び天主閣の建築について概説する。(カッパは天守閣模型)

築山を設け、面積約200坪の庭池をあしらひ、小瀑、溪流を施設した。此の庭園面積約2,300坪である。

本丸内天主臺北側に、面積約3,000坪、古來山里丸と稱する一劃がある。往時は豊臣家真殿所在の地と稱へらるるも近代に至つては桐樹繁茂し、徒に荒廢に任せて居た。此れも改發して公園設備を施したのである。

18





19

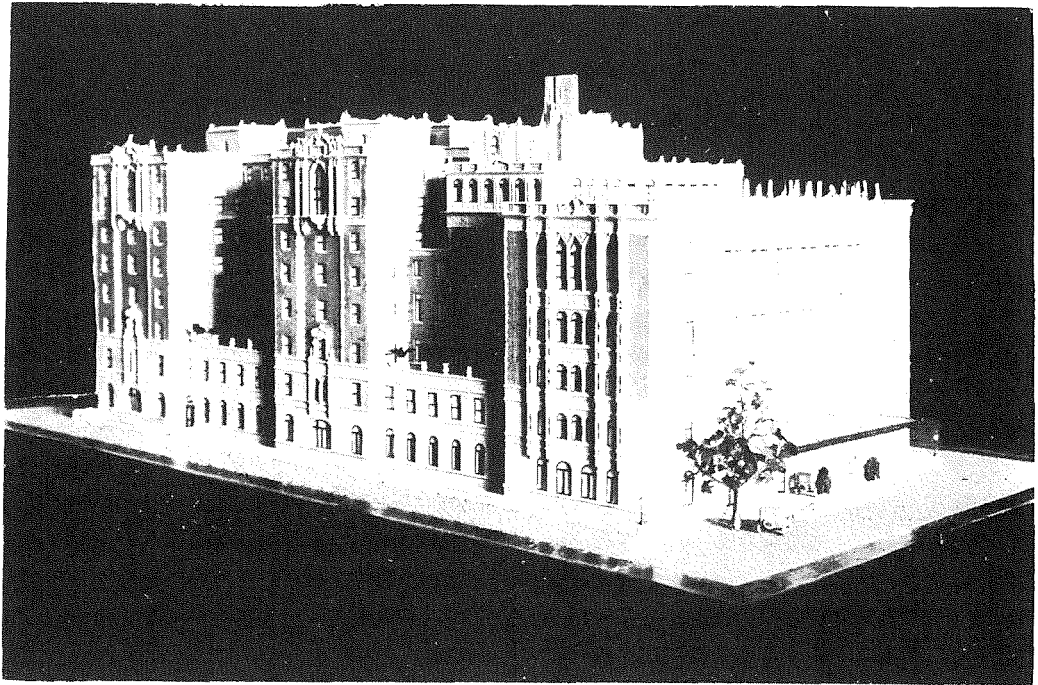
### 天主閣の建築（第十九圖）

高さ44尺、東西18間、南北20間の天守臺上に、桃山時代の絢爛たる天守閣を再現せしめんとするのが本事業であつて、海拔 235尺の大廈巍然として浪都を睥睨することとなる。完成の上は大阪郷土史資料展覽場となる豫定である。

建物は鐵骨鐵筋コンクリート構造で、内部は地階共八重、外觀は五層樓である。内部は、各床共鐵筋コンクリート・スラブ、ターピヤモルタル仕上とし、天井及び側壁は純白フマインド仕上、五階、六階、七階は色壁とする。外觀は交又せる大

母屋、千鳥破風、唐破風で、各銅板打出し金箔押鑄付とし、最上階外部は漆黒人造石研出し、廻縁下は黒人造石洗出し、壁地に浮彫薄肉の伏虎八態を表はし、上部壁地に舞鶴八姿を漆で描き出す。

屋根は黒色銅瓦本葺、各層軒先と箕甲瓦は金塗、屋上に高さ七尺の青銅製、金箔押鑄を置く。四層以下の外部は總て白壁總塗り籠めとする。最上層は展望臺。三階以上六階までは展覽場である。本年秋竣工の豫定である。



20

大 阪 市 ホ テ ル (第二十圖)

輓近大阪市産業貿易の股賑に伴ひ、外來客の足を止むるものまた漸く多きを加へて來た。然し乍ら本市には是等外人の宿泊滞在に適當なる施設なく、既設のホテルと稱するものも未だ以て足れりとする事の出来るものは無い。此處に鑑みて市は適當の宿泊設備を完成して外客の誘致を圖らんとすることになつたのである。

本事業は昭和五年市會の議決を經、工費約350萬圓を以て現に執行中のものである。建物竣成の上は、新に創立せられる會社にその管理、經營を委託せられることになつて居る。

位置 北區中之島三丁目

建物 敷地面積約1,300坪、間口20間、奥行44間、

建坪823坪。

北館を會館とし、堂島川に面して玄関を設け南館をホテルとして土佐堀川に面して玄関を設く。地下二階、地上八階、客室數240。鐵骨鐵筋コンクリート構造とし、外部二階迄の壁面は天然石張、上部の壁面は淡色化粧タイル張、コルコス及び窓廻りは凝石塗り又はテラカッタ仕上とす。

様式 北伊の水郷市ヴェニスに發達せし典雅且つ多分に東洋趣味を有する南歐風建築様式に基調を置き、其の繊細華麗なる裝飾意匠を單純にし且つ、之を近代化したるものとす。

(以上)